

プラチナ展望

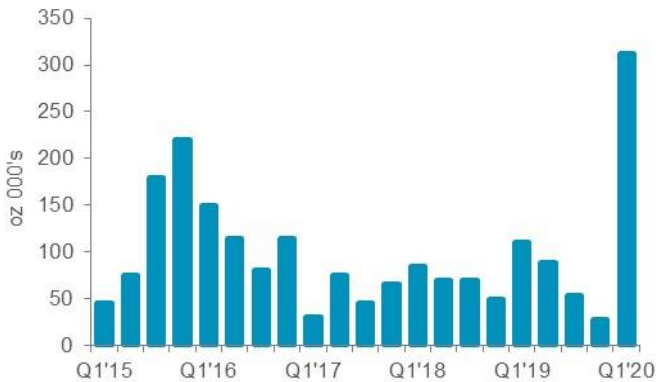
高まるグローバルリスクで地金とコイン需要の大幅拡大 - プラチナ投資に朗報

高まるグローバルリスクとプラチナの十数年来の低価格に個人投資家が反応したことで、今年の第1四半期のプラチナ現物投資商品の需要は前例のない増加となった。その投資家らが購入した地金とコインは9.7トンで、これは過去40年間の年間平均の5倍という伸び。

供給に支障が生じなければ3月の需要はさらに伸びたかもしれないが、アングロ・アメリカン・プラチナムのコンバータープラントの事故、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための鉱山と精錬所の閉鎖、さらに空輸輸送の制限など様々な問題で、現物商品は極端に品薄となった。これに中国などのプラチナの輸入需要拡大が重なり、リアルレートが上昇、地金とコインのプレミアムを75%近くまで押し上げた。にもかかわらず4月、5月も引き続き造幣局や現物小売業者らは強い需要があると報告している。

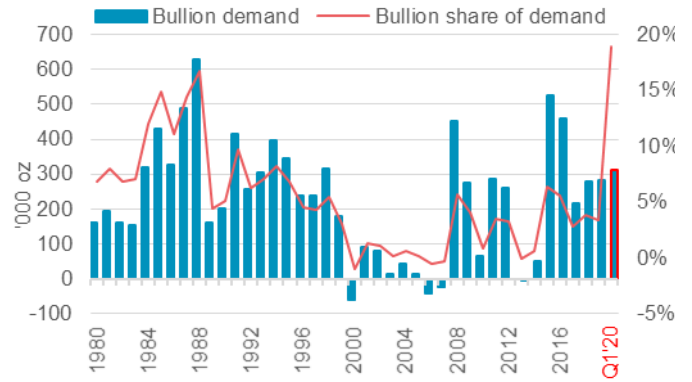
地金やコインの需要はプラチナ投資にとっては重要でありながらも市場分析ではあまり注目されてこなかった。過去40年で現物商品は平均で年間6%（多い時は17%）の需要を記録してきたが、2020年第1四半期の現物商品需要は全体の19%にもなっている。注目すべきことは、地金とコインの売却がプラチナ供給の元、即ち売り戻しが買いよりも多かったのは過去40年間のうち4年のみであるということである。

2020年第1四半期、WPIC 四半期レポートが始まった2013年以降の過去最高の四半期記録となった地金とコイン需要



資料: SFA (オックスフォード) 社(2018年第4四半期まで)、メタルズフォーカス社(2019年第1四半期以降)、WPIC リサーチ

2020年第1四半期、地金とコインの需要は1980年以降の年間平均量7.2トンの5倍



資料: ジョンソン・マッセイ社 (2013年以)、SFA (オックスフォード) 社(2013年から2018年まで)、メタルズフォーカス社(2019年以降)、WPIC リサーチ
注: 2020年の需要とマーケットシェアのデータは第1四半期のみ

注目すべきは3月半ばの底値からプラチナ価格がリバウンドしている中で、投資家は引き続き現物商品を買いつけるかということだ。常識的には個人投資家は価格が上昇すると購入をやめるが、しかし過去には何度か逆のことが起きている。価格が上昇していたにもかかわらず、1988年は19.6トン、2008年は14トン、そして2016年には14.3トンの現物商品需要があった。

プラチナ純度 99.95%が保証されている地金、コイン商品は個人投資家が投資ポートフォリオに簡単に現物プラチナを加えることができる手段だ。2020年はゴールド商品同様にプラチナ現物商品も物品税と消費税の優遇

「2020年の地金とコインの投資需要は115% (10トン) 増え、18.8トンとなる予測」

5月18日発表のWPIC プラチナ四半期レポート - 2020年第1四半期

Trevor Raymond

Director of Research

+44 203 696 8772

traymond@platinuminvestment.com

David Wilson

Manager, Investment Research

+44 203 696 8786

dwilson@platinuminvestment.com

Brendan Clifford

Manager, Investor Development

+44 203 696 8778

bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council

www.platinuminvestment.com

64 St James's Street

London SW1A 1NF

2020年6月

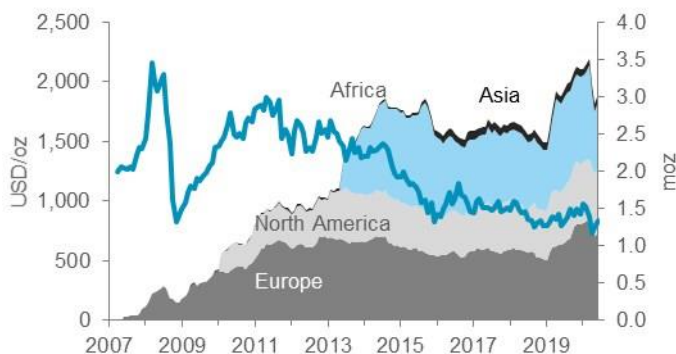
措置が受けられる地域で、低価格商品も販売が始まったことでさらに手軽な手段となった。

2020年は引き続きマクロレベルでの不安材料があることと感染症拡大以後の経済の再建政策とで、現物資産であり投資ポートフォリオの分散化に最適なプラチナへの投資需要が高まるだろう。

投資資産としてのプラチナの魅力:

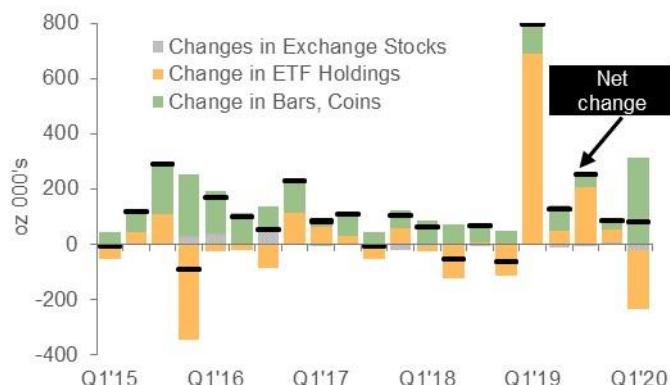
- 新たな金属鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

図1: ETFは2020年第1四半期に6.6トン売却され、第2四半期の保有は1.5トン増



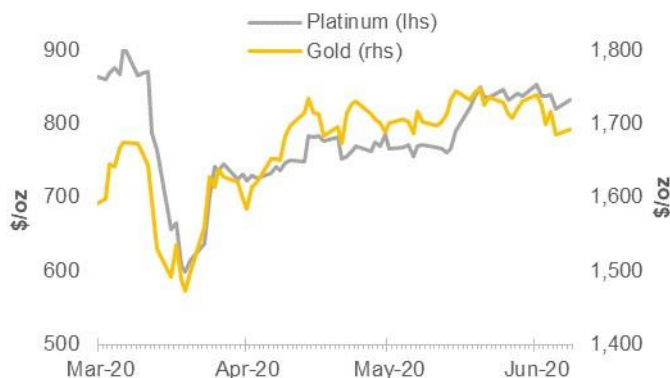
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ (2020年6月5日現在)

図2: 地金とコイン投資は2020年第1四半期の機関投資家のETF売却を上回る



資料: SFA (オックスフォード)社 (2018年第4四半期まで)、メタルズフォーカス社 (2019年第1四半期より)、WPIC リサーチ

図3: COVID-19の経済への打撃を受けて現物資産の需要増 3月半ばよりプラチナとゴールドは近い動き



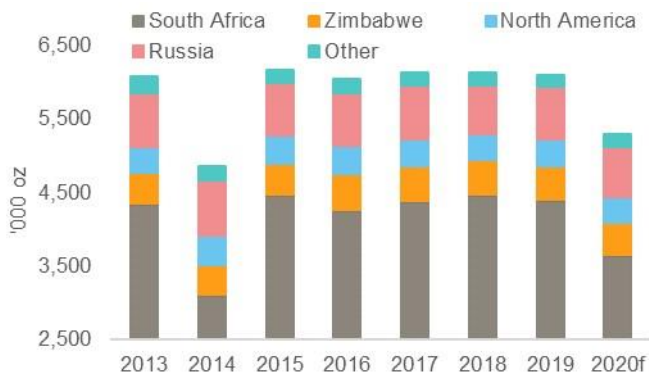
資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ (2020年6月8日現在)

図4: プラチナリースレートは市場の供給動向に反応し、パラジウムリースレートより非常に高いままで推移



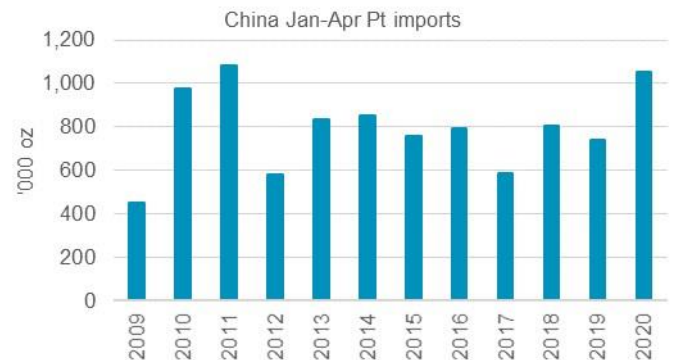
資料: 資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ (2020年6月8日現在)

図 5:2020 年のプラチナ供給はアングロプラチナムの ACP コンバーター事故と COVID-19 のための鉱山閉鎖の影響で、2019 年より 25.2 トン少ない予測。



資料: SFA (オックスフォード)社 (2018 年まで)、メタルズフォーカス社 (2019 年より)、WPIC リサーチ

図 6:中国のプラチナ輸入、2020 年 1 月から 4 月まで、前年比 42%増加し 33 トン。1 月から 4 月までの量としては 2011 年以来過去最高



資料: 中国税関総省、WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また 2000 年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第 2 次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第 2 次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第 2 次金融商品市場指令 (欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁) において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。